

平成27年度 滋賀県教育委員会 重点施策の主な取組状況(報告)(1)

子どもの「学ぶ力」を向上させます

○全国学力・学習状況調査を受けて

- ・調査問題の分析、市町への情報提供
- ・各校において自校採点を実施し、個々の児童生徒の解答状況を把握
- ・現場の状況を調査・聴き取り



- ・授業や宿題の改善など、対策を1学期から反映
- ・2学期に評価問題や児童生徒アンケートにより課題の改善状況を把握し、その課題を踏まえた授業を展開
- ・今後の授業において、「学び合い」や「振り返り」を重視し、子ども相互の関わりや授業ごとの定着を図る授業を展開

- ・課題の把握と補充指導を実施してきたことで、無回答が減少したが、記述式や資料の活用問題には引き続き課題が見られた。
- ・つまずき診断テストや学びなおしプリントの活用により、弱点把握や授業や宿題等での対策が多くの学校で展開され、基礎学力の定着が進んだ。
- ・中学校は、規模によって教科の課題や解決法が深まりにくい状況があった。
- ・学びなおしプリント等に対して、記述で答える問題を多くしてほしいという要望があった。

○小学校における放課後の活用について

- ・放課後の学習支援や運動遊び等に取り組む小学校に支援員を配置【小学校38校、79人（5月実績）】
- ・算数や国語などの授業の復習や補充学習、運動遊びやリレーの練習などを支援



- ・学習習慣づくりや基礎学力の定着

- ・ほぼ毎日支援員が入って継続的に補充指導を行うことにより、学習習慣が身についた。
- ・国語の記述式問題に取り組むことで、文章記述に慣れ、記述式問題の無解答の減少が見られた。
- ・基礎学力が定着し、「数と計算」の加法や除法、「図形」「数量関係」での式と図の問題で正答を導き出す子どもの増加が見られた。

魅力と活力ある学校づくりを進めます

○平成28年度の高等学校の統合新校の開校に向けて

彦根翔西館高等学校

- ・多くの選択科目を設置して、生徒の夢の実現を支援する総合学科高校
- ・競技力の向上を図る「スポーツ科学系列」を設置
- ・生活の質の向上に貢献する能力と態度を養う「家庭科学系列」を設置
- ・全国大会での活躍を目指す活発な部活動を展開

長浜北高等学校

- ・少人数教育を特色として、新しい英語教育のモデルとなる普通科高校
- ・アクティブラーニングによる英語教育を展開する学校設定科目「アクティブ・イングリッシュ」を各学年に設定
- ・グローバルな視野を広げ高い学力を身につける授業を展開
- ・学校規模の拡大により更に充実した学校行事と活気ある部活動を展開

●学校案内リーフレットを作成(別添)

●学校説明会等を開催

- ・各中学校の進路説明会で説明

6月以降

- ・彦根翔西館高等学校

8/5(水) 11/14(土)

- ・長浜北高等学校

8/18(火) 8/19(水) 11/14(土)